



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O TOSHINIDE AKIZUKI
 8-3-410 NISHIKURACHO ASHIYA
 HYOGO JAPAN

April 2000 No.9
 Chartered July 20, 1982

標語 Y'S SLOGANS (1999~2000)

クラブ会長	『楽しい奉仕活動、笑ってゆるして』
国際会長	"Enthusiasm makes the difference"
	『やる気が鍵だ』
アジア会長	"より良い世界を次世代に一美しい地球を守ろう"
	『Build a better world for the next millennium』
西日本区理事	"21世紀に向かって新しい創造を"
中西部長	"ワイズの原点を見つめ、より良きワイズライフを"

クラブ役員 Executives

会長	川村 一夫
副会長	栗山 佳三
書記	山田 孝彦
会計	三浦 直之
ネット員	隅田 恵子
連絡職員	神田 尚人

月間強調テーマ：『L T』

＝4月の聖句＝ [Biblical Passage of the Month]

マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら見をかがめて墓の中を見ると、イエスの遺体の置いてあった所に、白い布を着た二人の天使が見えた。一人は頭の方に、もう一人は足の方に座っていた。天使たちが、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかしそれがイエスだとは分からなかった。

イエスは言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか」誰を捜しているのか。」マリアは園丁だと思って言った。「あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか教えてください。わたしがあの方を引き取ります。」

イエスが「マリア」といわれると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。

(ヨハネによる福音書 20章11～16節)

＝4月第1例会＝ [April Regular Meeting]

日時：2000年 4月19日(水) 6.30~8.30p.m.
 場所：ホテルサンガーデン堂島4F

1. 開会点鐘	司会：池永 柄子君
2. ワイズソング	川村一夫会長 同
3. 聖句朗読	藤原 正巳君
4. ゲスト紹介	川村一夫会長
5. 今月の強調テーマ	福永 嘉彦君
6. 日々の糧	一 同
7. 晩餐	一 同
8. 卓話	
	「ネーチャーゲームを通して見た自然の理解」
	日本ネーチャーゲーム協会大阪支部・理事
	「次期会長研修に参加して」
	東 倫子氏
	島中 彬 君
9. お誕生日祝い	同
10. ニコニコ献金	ドライバー
11. 役員会・委員会報告	役員・委員長
12. YMCAニュース	神田連絡職員
13. 閉会点鐘	川村一夫会長

＝Attention Please!＝

4月の第1例会において、本年8月に香港で開催される国際大会への参加予定につき確認を行います。阪急交通社より送付のパンフレットに基づき参加の可否を検討の上、ご出席下さい。

＝4月のお誕生日＝

下記の皆さんです。Happy Birthday!
 神田 (9日)、柴田 (5日)、柴田ネット (11日)
 隅田ネット (13日)

＝4月の例会当番＝

第3班の皆様です。よろしくお願ひします。
 (藤原、黒田、谷川、田中、池永柄)

【クラブ統計】

2000年3月		分類	第1	第2	B Fポイント	ニコニコ献金
在籍会員	22名	メン	14名	7名	3月：切手 720gr.	3月：18,900円
例会出席	14名	メネット	6名	1名	現金 2,500円	
他クラブ出席	0名	コメット	0名	0名	累計：切手 5,699gr.	累計：152,307円
出席率	63.6%	ピジター	2名	0名	現金 37,519円	
(Attendance Ratio)		ゲスト	6名	0名		(除. X' MAS献金、オークション、記念献金)
(メイクアップを計)		合計	28名	8名	(明細は"BF報告"参照)	

＝今月の聖句に寄せて＝

イースター（復活祭）は、クリスマスと並んでキリスト教の二大行事です。またキリストの復活は、誕生のクリスマスより更に意義深いものと言えましょう。

イースターは、その年の春分の日から数えて最初の満月に続いてくる日曜日と決められています。従ってイースターは、クリスマスと違って毎年日が変わります。今年のイースターは4月23日です。

さてイースターの意義ですが、今月の聖句にある様に、イエスは蘇って先ずマグダラのマリアに現れ、その後直接の弟子であった人々に次々と姿を見せたと聖書は書いています。

死人が復活したかどうかは信仰の問題であり、キリスト教徒の中には文字通り信じている人々もあります。然し私は、昨年プレティンにも書いた通り次のように考えています。

生前のイエスの「わたしは十字架につけられ死して墓に葬られ、3日目に蘇る」という言葉は弟子達の心に強烈に焼きついておりました。

だから「主は必ず蘇り給う」との確信が弟子達の心に沸き上がり、その信仰的事実が聖書に書かれて、今日のキリスト教信仰の核心部分を形成しているのです。

（聖句選・コメント：黒田徹之）

＝3月第1例会報告＝

[Report of the March Regular Meeting]

(3月15日(水)6.30p.m.~8.30p.m.)

広報委員長・藤原 正巳

3月の第1例会は、久し振りに出席の鈴木メンや、大阪西クラブ・北村メン、東京クラブ・上原メネット、畠中メン紹介の森田さん、及び大阪YMCA後藤さんほかリーダー4名など、合計28名の出席者があり、通常の例会としては近年では最も賑やかな例会となりました。

当日のメインテーマは、大阪YMCA国際協力プログラムについての現状報告と、昨年11月に実施されたスリランカ・プロジェクトについての参加者からの報告でした。

大阪Yの国際協力プログラムについては、冊子「21世紀に向う大阪YMCAの使命」をベースに担当職員の後藤さんより手際よく説明がありました。アジア地域を中心に幅広く、息の長い取り組みを行っておられるの実態がよく理解できました。

スリランカ・プロジェクトについては、神田団長ほか参加者全員が出席頂き、夫々写真やジェスチャーを交え熱心な発表がありました。

内戦により家族を失い、平和な生活を奪われた子供たちにとって、明るく若いYのスタッフとの交流が、東の間の安らぎを与えたであろうことは十分に想像できました。

これらのYの活動実態を見るにつけ、私達としてもワイズの立場から色々な支援ができるのではと考えさせられました。

これを機会にわがクラブにおいてもより具体的に、魅力的な取り組み目標が見い出せればと念じております。

[Report of Activities]

1. We are very glad that recent record of 28 members, menettes, and guests attended the March Regular meeting held on March 15 at the Dojima Sun Garden Hotel, Osaka. Ms Kikuko Goto and other staff of the Osaka YMCA reported the International Cooperation Programs of the Association, focussing it's Sri Lanka Project, "The Love and Affection Camp for War Effectted Children 1999". We learnd a lot from the report and saw the necessity of supporting the activities of the Osaka YMCA in a new light.
2. Total amount of Yen 21,400 was contributed to the Club's Donation Fund, together with 720kgs of used stamps at the meeting.

＝3月第2例会報告＝

[Report of the March Executives' Meeting]

(3月22日(水)6.30p.m.~8.30p.m.)

書記 山田 孝彦

当日の協議・決定事項は次の通りです。

1. 4月例会プログラム：表記プログラムの通り

2. 5月例会プログラム

強調月間テーマ「YMCAサービス、ASF」については、福永Yサ・ASF事業委員長に説明実施を依頼。

イベントについては、「Y'sとYMCAの会員増強を考えよう」をテーマとした全員討論会を実施することとした。(データ作成・司会-藤原)

3. クラブ運営関係

① 会員リクルートの件

若手・新会員のリクルート、及び旧会員の復帰の可能性につき検討した。

・このうち若手会員については、当面会費の取扱いがポイントとなるため、下記③にて検討を予定している「必要会費シミュレーション」の結果を待って再度検討することとした。

・新会員については、3月例会に出席の森田氏、及び5月の卓話者、東倫子氏など、畠中メンのルートに期待し、アプローチ願うこととした。

・旧会員については、上月氏、湯浅両氏に福永、藤原両メンよりアプローチ頂くこととした。

② 香港国際大会参加の件

4月例会にて参加者の確認を行うこととした。

・参加の際、香港にてハワイ・ヌアヌ、香港・ボヒニアとトライアングルの機会が持てるか検討。とりあえずヌアヌクラブ会長宛参加者の有無を確認し、この結果を受けてボヒニア会長宛トライアングル、又は同クラブとの親睦パーティー開催の可能性をサウンドすることとした。

③ クラブ運営全般の見直しについて

従来よりの慣習に捕われず「より効率的で、低廉なクラブ運営」の方策につき協議実施。必要な会費の額、その支払い方法、大口支出項目の中身など、新たな観点からの見直しの必要性を確認した。



《Y M C A 後藤職員による活動報告》

—Y Y フォーラム報告—

「ボランティアの輪を広げよう」

—Y'sとY M C Aの会員増強を考えよう—
をテーマとした第2回のY・Yフォーラムが、3月5日(日)京都Y M C Aで開催されました。

当日は、日曜日にも拘らず東は名古屋から西は熊本まで135名の会員が参加し、Y'sとY M C Aの会員増強につき終日熱心な討議を行いました。

当クラブからは川村会長、栗山君、藤原君が参加し、藤原メンは第12分団の司会者として討議のとりまとめに当たりました。

各分団の発表で共通していたのは、「如何にして若者をY's活動に取り組み、会員の増強を図るか」という点でした。この具体的な方策として「若者が参加しやすい会費」の導入、及びこれに伴う一般会員の負担軽減策としてのファンド活動の重要性が指摘されました。

Y M C Aの会員増強策としては、Y's会員の協力会員化率の向上が検討されましたが、これについては各クラブによって大幅なバラツキが見られており、今後各クラブにおける認識の徹底と、Y M C A側からの一層の働きかけが必要との印象を受けました。
(藤原記)

★☆☆メネットコーナー☆☆★

メネット会長 隅田 恵子

○中西部合同メネット会報告

晴天に恵まれた3月18日、千里で行われたメネット会に福永、山村メネットと出席しました。会には66人の参加があり、メネット会のテーマである「聴導犬について」話し合いました。

ヒアリングドッグを育てる会の大西滋会長が当日急病になられたため、聴導犬マニー君のデモンストレーションを見ることはできませんでしたがボランティアスタッフの河野さんからお話をうかがいました。

育てる会は最近聴導犬2号「レオ」を貸与され、受けられた方がとても明るく積極的になられたとのこと。また、日本には障害者が36万人位おられるのに、聴導犬は20数頭しかいないこと、そして国などの援助がないので資金が全く不足していること等、育てる会の現状を知りました。

ささやかですが私達が支援できる一つとして使用済カードの回収があります。テレカ1枚50銭、その他のカードを1枚5銭で業者に売却し、活動資金にされています。皆様のご協力をお願い致します。
以上

連絡職員：神田 尚人

- * シニアキャンプ活動的なアフター60を—
日 程：4月7日(金)～9日(日)
場 所：Y M C A 六甲研修センター
内 容：自然観察、ハイキング、野外料理、
キャンプファイヤーほか
問合せ：枚方Y M C A ☎ 072(841)7998
- * 早天祈禱会
日 時：4月21日(金) 午前7時半～8時半
場 所：大阪Y M C A 会館 10Fチャペル
証 し：今村正夫氏(日本キリスト教団福知教会伝道員)
問合せ：大阪Y M C A 国際・社会奉仕室
☎ 06(6441)0962

- * 南Y M C A 50周年記念式典
1950年、日本最初のランチとして誕生した南Yがミレニアムに50周年を迎えます。
日 時：4月23日(日)14:00～17:00
場 所：南Y M C A ☎ 06(6779)8361
- * 「メンバーシップサービス」名称変更
4月1日より大阪Y M C Aメンバーシップサービスの名称が「国際・社会奉仕室」に変わります。最近多くなってきたボランティアの問合せの対応は勿論、これ迄と同じく国際協力、社会奉仕プログラム、協力会員事務を取扱います。ワイズメンズクラブの窓口もここでありますが、新名称は一般の方にもその内容が判り易くなるのではないのでしょうか。

—I B C ニュース—

I B C・D B C 委員長 谷川 寛

★香港ボヒニアクラブ訪問

3月18日(土)夜、ボヒニアクラブ・チャリティーナイトに出席しました。アジアY M C A 同盟常務委員会の夕食会のあと駆けつけましたが、11時過ぎにも拘らず50人位の出席があり、カラオケ等で大変盛り上がっていました。センチニアルからは豪華な扇子を景品に出しました。

パーティーには今度アジア同盟委員に選任された西村隆夫氏(T I F I クラブ所属、センチニアル・チャーターメンバー)や、国際書記、イングバー・ワリンさんも一緒に連れていきました。

現在のボヒニア会長はゴレットティさんですが、次の会長は多分ソフィア・フォンさんの由で、8月の国際大会にセンチニアルから何名来るのか問合せがありました。ペティー・ライさん夫妻にも会いました。アパートを処分して私達と同じY M C A ホテルに宿泊しており、3月24日にニューヨークに出発すると言っていました。ニューヨーク訪問時には是非寄ってほしいとのことでした。以上

—3月B F ニュース—

[Report of the Brotherhood Fund in January]

B F 委員長：坂本 哲朗

◇切手提供者：

坂本君、隅田君、福永君、池永栖君、山田君、谷川君、藤原君、畠中君、中村隆君、山村君
* 当月の殊勲賞 山田君(400gr.)

◇現金提供者：山田君、山村君

♂♂♂ ニコニコメッセージ ♀♀♀
 [Messages from the Club Members]

〈ビジターからのメッセージ〉

- 12日(日)京都北野天満宮と大阪城梅林を訪れました。甘酸っぱい香りと冷たい風の中に強く咲く梅の花とセンテニアルクラブがなぜかダブって感じられました。(大阪西クラブ・北村久美子)
- 久し振りに父の付添いで例会に出さして頂きました。昨夜は東京クラブ・メネットナイトで多勢のゲストがおいで下さいました。センテニアルクラブはアットホームで大好きです。(東京クラブ・上原玉音)

〈ゲストからのメッセージ〉

- 人と人との不思議な縁で今回、初めて参加させて頂きました。よろしく願い致します。(森田誠二)
- いい感じのお部屋で、また、いつもよくして頂いているメン、メネットの方々で、リラックスした雰囲気楽しんで時を過ごさせて頂きました。ありがとうございます。(YMCA・後藤規久子)
- 六甲研修センターで働いております。山上はまだ冷え込む日もあり、春はまだ先という感じです。今年は昨年より1人でも多くのお客様がご来所下さる様、プログラムなどいいものを展開していこうと思っています。(YMCA・山岡剛彦)
- 日々、子どもたちと接しております。子どもにとって定例会というのはいずれも楽しみものでもあります。一つ一つ、普段の定例会を初めて参加した気持ちで、改めて大切にしていきたいです。(YMCAリーダー・飯塚敏康)
- 始めまして。聖和大学YMCAで活動しています。今回はスリランカ・プロジェクト参加に伴って大阪YMCAの活動に参加させて頂いています。今年4回生ということで、色々忙しい毎日を送っています。(聖和大学学Y・中野 亮)

oo

- 大腸ポリープ除去の手術をしました。日頃の摂生が悪いのか全部除去できず、また月末に再度手術です。早くスッキリしたいと思う今日この頃です。(川村一夫)
- 本日はスリランカ・プロジェクトの参加したメンバーを多数お招き頂き、有難うございます。YMCAの国際協力プログラムや、スリランカの報告をお楽しみ頂けましたでしょうか。今後とも各プログラムのご支援をお願い致します。(神田尚人)
- 3月5日(日)第2回Y Yフォーラムに参加しました。夫々の立場を踏まえ熱心に討議されましたが、未だ道遠しの感があります。(栗山佳三)
- 今日の会合は、クラブの方針通り、若々しい雰囲気満ちた会でした。前途洋々たるものを感じました。森田氏のご入会の日を待っております。(黒田蔵之)
- 2月にIC-BPCというプロセールの資格を取りました。これはIBMの世界共通のライセンスです。(坂本哲朗)
- 3月5日にYMCAの日本語学校の卒業式に参加しました。皆、熱心に日本語を学習されて、大変上達されての卒業でした。おめでとうございます。(坂本千春)

- 本日は30名を超えるY'sの方々がお集まり頂き、盛会でした。いつもこの様であればと願います。(自分のことは棚に上げて)? (柴田 健)
- 春風と共に健康回復の途につき、やっと今日は皆様のお顔を見にやってこられました。ご心配頂いて済みませんでした。(鈴木謙介)
- 3月30日で結婚、丸26年になります。二人で一緒に出席しようと言っておりましたのに、最近は一人で出席、でもとても楽しんでおります。(隅田恵子)
- 3月と4月の初めに青少年プログラムを持ちます。子供たちと楽しく集える現場の第一線にこれからも長くかかわっていきたくと思います。(中村茂高)
- 皆様花粉症でお苦しい様ですね。私も十年前にはとっても辛かったのですが、近年は大したことはなくなりました。来年は軽症になられることをお祈りしています。(中村幸枝)
- 本日は関西テレビの森田君を新会員候補として連れてきました。センテニアルの将来を担う1人として、今後共よろしくご指導をお願いします。(畠中 彬)
- 耳慣れない難しい言葉が多く、少々とまどった所がありました。徐々に学んでいきます。よろしく願います。(畠中ひろみ)
- この間思いがけなく上月さんからすぐ沢山の古切手を送って頂いて感激。ゴルフのお誘いをまた受けて楽しみにしています。小生今度は歯の治療中。(福永嘉彦)
- 今日は鈴木メンが元気なお顔を見せて下さり感謝です。神田メンのお話と聞き、楽しい神田節が聞けると楽しみにして来ました。若い方々の活動が実りあるものとなる様お祈りします。(福永滋子)
- 鈴木さんのお元気なお顔や、森田さんはじめ多くのゲスト、ビジターのご出席で賑やかな例会となりました。近い将来これ位の人数で例会が開催できればと念じております。(藤原正巳)
- 介護保険の導入で、私の母の所には最近色々なケアマネージャーの打診があり、大変忙しいです。(堀井由里子)
- 3/12、13と茶屋町町内会で湯村温泉へ行きました。楽しかったです。ワイズでも行きましょう。8月の香港、行くつもりです。(三浦直之)
- 孫4名(男-3、女-1)の最年長が高校に合格できました。「夏休みにモンゴルに行って馬を馳せるのが楽しみ」だとか。他のチビッコも夫々水泳、スキー(男児)、空手(女児)と体力作りに励んでいます。感謝です。(山田孝彦)
- 主人が欠席で下手な俳句を預かって来ました。
 "京料理、新筍とありしかな"
 "じっと待つ、寒き白鷺うごきあり"
 後藤さん、スリランカのお話有難う。寂しくなりますが、北Yへ行かれても頑張って下さい。(山村利子)

news news 個人消息 news news

★E-mailアドレス追加・訂正

- ・三浦直之 miuran@bronze.ocn.ne.jp
- ・栗山佳三 fwkd6741@mb.infoweb.ne.jp
- ・山村幸明 y-ace@mud.biglobe.ne.jp
- ・鈴木謙介 fwpc0806@mb.infoweb.ne.jp